

# 民生文教委員会 所管事務調査報告書

令和8年4月28日

犬山市議会議長

大 沢 秀 教 様

民生文教委員長

久 世 高 裕

本委員会は、地方自治法第109条第2項及び犬山市議会会議規則第97条第1項の規定に基づき、下記の事項について調査したので、犬山市議会会議規則第102条の規定に基づき報告します。

## 記

### 1. 調査事項

小規模保育事業について

### 2. 調査目的

共働き家庭の増加等により、ニーズの高まっている小規模保育事業について、待機児童対策及び事業運営の調査研究を行う。

### 3. 調査方法

#### (1) 先進地への行政視察

##### ①兵庫県西宮市

日 時 令和7年10月8日 午前10時00分から午前11時30分まで

場 所 西宮市役所

出席委員 6名（全員）

テ ー マ 地域型保育事業所・特区小規模保育事業所について

主な内容

- ・大型マンション開発が進み、保育需要が高まり続けており、待機児童が多い自治体全国2位である。
- ・1、2歳児の待機児童が多いため、保育所を整備するのではなく、地域型保育事業所、卒園後の受入先確保を条件とした特区小規模保育事業所を整備した。
- ・財政的な理由により、公立保育所を縮小し、民間の保育所や認定保育園へ移行している。
- ・保育士確保のため市独自事業として、雇用されてから1、3、5年目に10万円を支給、奨学金の返済費用の一部を補助している。

(2) 当局との意見交換（視察報告）

日 時 令和7年10月14日 午後1時01分から午後1時47分まで  
場 所 第2委員会室  
出席委員 6名（全員）  
出席者 子ども・子育て監、子ども未来課長、子ども未来課主幹  
主な意見 ・ニーズが多様化している。子育て施策や保育の充実を図るため、民間の活用を積極的に取り組んでいくべきである。

(3) 令和8年度犬山市一般会計予算への議案質疑

日 時 令和8年3月17日 午前9時57分から午後2時03分まで  
場 所 第2委員会室  
出席委員 6名（全員）  
主な内容 保育に関する予算に対して質疑を行った。  
・令和8年4月時点では待機児童は発生していないが、1歳児を中心に申込増加が見られる。  
・育休退園廃止により、今後は年度途中での待機児童発生の可能性があるとの認識が示された。  
・公立園の定員拡大や保育士再配置により、現時点では最大限の対応を実施している状況である。  
・市としても小規模保育事業の必要性を認識しており、導入は遠くない課題として位置づけている。

(4) 委員間討議（調査結果まとめ）

日 時 令和8年3月17日 午後2時03分から午後3時18分まで  
場 所 第2委員会室  
出席委員 6名（全員）  
主な内容 市への提言のため委員間討議を行った。

#### 4. 調査結果

委員間討議を踏まえ、以下の3点について意見集約した。

- (1) 低年齢児保育ニーズの増加を踏まえ、小規模保育事業の導入を前提とした具体的検討を進めること。
- (2) 民間事業者の参入促進に向け、制度設計や支援策の検討を行うこと。
- (3) 年度途中の受け入れ需要も見据えた柔軟な保育提供体制を構築すること。